

SKM 通信5

発行:株式会社サクマ広報室

〒174-0043
東京都板橋区坂下2-32-27
TEL 03-3558-7316
FAX 03-3558-7317

E-mail sakuma@kk-sakuma.com

令和6年5月28日(火)

今月の予定

全国安全週間準備間：
6月1日～6月30日
危険物安全週間：
6月2日～6月8日
安全大会：
6月9日(日)
外国人労働者問題啓発月間
安全衛生協議会：6月25日(火)

全国安全週間



全国安全週間準備間

厚生労働省では、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的として、7月1日～7月7日までを安全週間、6月1日から6月30日までを準備期間として、全国一斉に全国安全週間を定めています。

全国安全週間は、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で97回目を迎えます。

事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開され、この努力により労働災害は長期的には減少していますが、令和5年の労働災害は、死亡災害は集計開始以降最少となった前年を下回る見込みであるものの、休業4日以上死傷災害は前年同期よりも増加しており、過去20年で最多となった令和4年を上回る見込みです。特に、転倒や腰痛といった労働者の作業行動に起因する死傷災害が増加し続けており、死亡災害については墜落・転落などによる災害が依然として後を絶たない状況にあります。

労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くため、引き続き労使一丸となった取組が求められます。転倒したのは、本人の不意注意と軽視せず、滑りやすい場所であれば注意書きを貼り再発を防止しましょう。又、糖尿病、高血圧症など熱中症の発症に影響を及ぼす疾病を有する者には、医師等の意見を踏まえた配慮をおこなうようにしましょう。

全国安全週間に関する社長教訓

全国安全週間を迎えて、社員の皆様、協力会社の皆様におかれましては、工事施工にあたり、それぞれの持ち場で誠心ご尽力されていることに心からお礼申し上げます。

さて、第97回目を迎える全国安全週間は、本年も6月を準備月間として7月1日から1週間にあたる全国的に展開されます。

本年の全国安全週間のスローガンは、『危険に気付くあなたの目』そして『危険に気付くあなたの目』と定められました。このスローガンが示すとおり、経営トップはもとより各持ち場の長は、決意を新たに安全活動の先頭に立って、危険ゼロの安全な職場づくりを進めるために、働く者全員が職場に潜む危険要因の確かな洗い出しを行ない、積極的に取り

組むことが必要です。

当社においても、スローガンに『ゼロ災害達成』を掲げています。作業を急ぐあまり、安全を軽視し現場の不安全行動・不安全状態をなくすため具体的な作業打ち合わせを行ない、確かな作業指示・指導を徹底して、働くもの全員が安全に、対し常に問題意識を持ち、安全確認をして災害ゼロ職場を実現しようと呼び掛けております。

昨今、働く職場も様々に変化しており安全管理の進め方も柔軟な対応を求められています。この全国安全週間を機会に、今一度、安全管理体制は十分か、決められた事は確実に実行されているかを確認し、働く皆様が、自分自身のため、大切な家族のために災害根絶の努力をお願い申し上げます。

危険物安全週間とは

危険物安全週間は、消防庁により制定され、以来毎年6月の第2週(日曜日)から土曜日までの1週間)に各種事業が実施されています。

危険物安全週間を通じて、日常生活で使う危険物について理解を深めましょう。

ガソリンは、保管場所は直射日光を避け、高温になる場所や火気を取り扱う場所には置かない。必要以上の量を保有しない。容器に入れた危険物が地震で転倒、落下しないように事前対策をする。ガソリンは専用の携行缶を使用し、灯油用ポリ容器では保管しないといったことを守り、いまだ、事故のないようご協力ください。

社長の一言

不満、ストレス、同僚との相性の問題を抱えている職人には親身になって対応し、チームワークを育てる。

化学物質管理者とは

現場ごとに、危険性や有害性のある化学物質から労働者を守り管理する人のことです。

役割は、作業者の化学物質との接触を最小限にする対策と、これらの災害発生時の対応をおこなうことです。化学物質管理者になるには、化学物質の管理に関する講習を修了する必要があります。化学物質の危険性や有害性を労働者に伝え、作業場に合った対策をおこなう仕事です。



災害事例

移動中、側溝付近でバランスを崩し、バルコニー床に転倒、その際、立てかけてあった立馬に接触、顔部を負傷した



朝礼前 詰所へ向かう

外部から躯体に移動、段差30cm
側溝付近でバランスを崩す。



バルコニー床に転倒

壁に立てかけてあった、立馬に接触し、反動で立馬が警備員の顔方向に倒れ鼻と眼を負傷。

立馬 長さ L1.3m
重量 11kg



インドネシアの人々

インドネシアは1年中温暖な気候からか、明るく、陽気な人が多い印象があります。

常夏のインドネシアでは、厳しい冬に備えてセカセカ働くという習慣がなく、陽気でおらかな方が多いです。

又、宗教の影響が強く、日本人のように無宗教というのは基本的には認められていません。これはヨーロッパ系の人々も同様で「宗教を信じてません」というと変な奴と思われる。

世界的に無宗教は共産圏くらいなものです。仕事よりも家庭や宗教を優先します。

インドネシア人の多くの方が信仰するイスラム教では、怒ることは悪いことと認識さ

会をつくりましょう。また、生活上、職務上の相談にも積極的に応じるように努めましょう。

・外国人社員の雇用が10名以上になる場合は、責任者の選任が推奨されています。苦情や相談の窓口体制をつくっておきましょう。

・宗教的配慮を要する外国人の受入環境に関しては、食事や礼拝に配慮すること以外にも、宗教上の戒律と生活習慣について、特に制約が多いイ

スラム教、ヒンドゥー教、ユダヤ教の戒律や習慣を知ることが大切と思われます。

イスラム教は1日5回、メッカに向かっての礼拝が習慣です。礼拝の時間は決まっています。清潔な礼拝場所を用意してあげましょう。

又、断食月（ラマダン）と呼ばれる期間（その期間は毎年変わりますが、3月下旬から1か月程度です）は、日中は水も食事摂れないので重労働は困難です。

先月の安全衛生協議会の議事録

1. 日時：令和6年4月30日（火） 16：30開会
2. 場所：(株)サクマ 本社会議室
3. 参加者：役員他 11名
4. STOP! 熱中症 クールワークキャンペーンの準備の検討
5. 現場パトロール・ヒヤリハットの報告内容
6. 先月の安全目標についての反省
7. 働き方改革の現状報告
8. コンクリによってタンパを使い分ける説明
9. 安全大会（6月9日開催予定）の内容検討
10. 社長より社員指示教訓の発表 17：20閉会

今月の安全衛生協議会の議事目録

1. 開会のあいさつ（議長） 17：00
2. 全国安全週間の準備の説明 17：05
3. 先月の安全目標の達成状況 17：10
4. 現場パトロール・ヒヤリハットの報告
5. 月間安全目標：報告、連絡、相談の徹底
6. 熱中症予防対策の実施に関して 17：30
7. 来月の予定に関して 17：40
8. 質疑応答 17：45
9. 閉会の宣言（議長） 17：55

編集後記

1日の温度変化が著しい時期です。体調管理を行うとともに、職場の安全確保に努めたいと思います。インドネシア人を知ることが、言っても過言ではないと思います。

【編集・文責】飛田 明男